

まつど 市子連だより



第42号

平成31年3月31日発行

発行：松戸市子ども会育成会

連絡協議会

編集：同広報部会

松戸市子ども会育成会連絡協議会
会長 杉浦 誠一



本年は、平成から新元号へ変わろうとしています。そして世界は、経済社会の有り様を一変させる第4次産業革命の真っ只中にあると言われます。まさに変化の年になろうとしています。しかし、面々と続いてきた子ども会は、子どもの健全育成、人間形成を図る上でその役割は不変であり大きな存在です。その特徴として、

- (1)制作・表現・発表・スポーツ等様々な体験を通して自ら学び自ら考える事。
- (2)異年齢集団活動で、他と強調する精神や思いやりの心等豊かな人間性を身につける事。
- (3)集団活動では、子どもの持つ良さを促進する事。

子ども会は、異年齢集団であり、学校の等質集団、家庭の血縁集団では得られない貴重な体験の場でもあります。更に親子の絆の発見や親同士のふれあいの場でもあります。次代を担う子ども達のために、今出来ることを体験し、子ども達の成長のお手伝いを、皆さんと共に進んで参りたいと思います。

どうぞ今後とも、こうした活動に、ご理解ご協力を頂きたいと思っております。



単子が主役

市子連では、平成二十九年度に活性化委員会を立ち上げました。単子子ども会の皆さんと行政（松戸市）をつなぐ立場として、また、手を携える者として、子ども会の活動がより良いものとなるように何かすべき事はないかと、模索しながらのスタートでした。

まずは、子ども会の存在とその活動を知ってもらおうという広報活動に着手しました。松戸市内の全小学校や保育園、幼稚園に『子ども会へようこそ』のリーフレットを配布。今後も新しい情報に合わせて内容を改正しつつ、配布を続ける予定です。

また、来年度は、いよいよホームページを立ち上げることになりました。子ども会は何と言っても「単子が主役」です。どの地区にどんな子ども会があり、どんな活動をしているのか。同じ松戸市内で活動している皆さんの、横のつながりを作るお手伝いができれば、と思っています。市子連からのお知らせとともに、地区連や単子の情報も順次アップしていく予定です。是非ご覧になってみてください！

...ただいま準備中...



matsudo-kodomokai.com

検索

みんなで伝えあおう うちの子ども会ここがいい！

『さすいけん』

二月に、地区懇談会が開催されました。明第一・明第二地区の懇談会では、単子の皆さんが、力を入れていること、新しく試みたこと、成果が上がったこと、地域とともに取り組んでいること、などをお話しされました。

『いいところ』が話題にのぼると、聞いている皆さんの表情が一変。もっと詳しく教えて欲しいという声があり、話が弾みました。お互いにいいところを知り合い、情報を交換して、単子同士の交流を図ることも、地域全体の活性化に繋がるのではないのでしょうか。



そこで、来年度、市子連では「子ども会いいところ探し」を実施したいと思っております。

単子の皆さんに「うちの子ども会、こんなところがいい！」をアピールしていただき、その内容をホームページや広報誌等に掲載し、たくさんの方々と情報を共有していきます。皆さん自身の言葉で、いいところを伝えあいましょう。ご協力よろしくをお願い致します。